エクセレント・カンパニー

トーソー

カーテンレール国内首位

トーソーはカーテンレール製造販売で1949年の設立以来、国内トップシェアを誇る。国内とインドネシアの主要4工場で一貫生産し、高品質と豊富な品ぞろえで差別化している。林淳之取締役は「国内で初めてカーテンレールを導入した。カーテンの二重吊りや装飾的なレールを提案するなど、常に顧客の潜在的ニーズをとらえて室内装飾文化を盛り上げてきた」と自負する。70年代からインテリア関連の書籍を出版し、06年からカーテンメーカーの発表会「ウィズ・カーテン」も主催している。

主力は国内住宅向けカーテンレール・ブラインド類だが、海外市場と大型施設に照準を合わせる。「ホテルはデザイン性、オフィスビルは省エネ性を強みに拡大する」と意気込む。海外向けは現在約2%の売上高比率を、将来的に10%まで引き上げる計画だ。

「アジアは富裕層から中間層まで視野に入れ、インドネシア工場から各国への供給を目指す。欧州はフランスに設けた販売拠点を軸に、高機能の日本製品を求める顧客を開拓する」と力を込める。

カーテンレールで国内トップシェアを誇る

大陽ステンレススプリング

ステンレス製皿ばね座金

大陽ステンレススプリングは、E形止め輪、C形止め輪、歯付き座金、ウェーブワッシャー、スプリングピンなどの工業用ファスナー類をステンレス製でラインアップ。新たにボルト用の皿ばね座金(H1)も規格品の在庫販売に加えた。皿ばね座金の市場は一般的に鉄製が知られているが、耐食性、使用環境強化などのニーズが強く、ステンレス製を用意した。既存製品のノウハウを生かしたステンレス製の皿ばね座金の提供は、他社との差別化のほか、国内の各種のインフラ市場で需要を見込める。他の規格品同様に在庫販売し、顧客の要望に対応する。材質はSUS304−SCP、サイズは呼び直径6ミリ、同8ミリ、同10ミリ、同12ミリ、同14ミリ、同16ミリとなっている。鉄製やこれ以外の特注品にも対応する。

このところの住宅関連が好調であることが、同社にとってカギになっている。自動車関連では鉄製の製品が多い中、住宅関連、食品関連ではステンレス製が使用されることが多い。ジョイントクリップ、スプリングピンなどもステンレス製が使用されており、同社製品も好調に推移している。

一般ボルト、小ネジ、ナット用皿ばね座金

ユーケン

仮設水洗トイレ開発・設営

ユーケンは仮設水洗トイレの開発や設営を手がけている。温水洗浄便座付きの洋式のため、清潔だ。広いスペースを確保しており、臭いも軽減している。「汚い、臭い」とのイメージを払拭した。監物祐三取締役は「トイレは文化。良い製品を提供したい。特に子どもやお年寄りのことを優先に考えている」と意気込む。

給排水設備の有無に応じ、水洗タイプと簡易水洗タイプを用意。マラソン大会やゴルフトーナメントのほか、イベント会場やレジャー施設などで採用実績がある。力を入れているのが、簡易水洗タイプの「Bagno（バーニョ）」。顧客からは「きれいで使いやすい」と好評だ。リース料金は3年程度の長期レンタルで月7万円程度と、プレハブのトイレに比べて抑えられる。

仮設トイレは災害時にも威力を発揮する。複数の自治体と防災協定を結んでおり、今後は伊豆大島や東北地方の被災地向けに貸し出す考え。監物取締役は「ほかの企業とも協力し、本当に困っている人々の役に立ちたい」と言い切る。

従来のイメージを払拭した清潔な仮設トイレ

オリエンタルエンヂニアリング

センサー付きガス軟窒化炉

オリエンタルエンヂニアリングの窒化センサー付きガス軟窒化炉「ユニナイトコントロールシステム付きガス軟窒化炉」は、独自開発の窒化センサーを用いて炉内の水素濃度を分析し、ガス流量を最適に自動制御する。赤外線アンモニア分析制御方式に比べて分析応答速度が速い。センサー部における炭酸アンモニウム析出の問題がないため、ノーメンテナンスで窒化、軟窒化、酸窒化などの処理に対応できる。

自動制御により、従来炉に比べて使用ガス量を2分の1−3分の2に削減し、ランニングコストを抑えられる。省エネルギーで環境に優しく、二酸化炭素（CO_2）削減にも寄与する。高精度でセンサー値と各種パラメーターを記録管理し、処理の品質保証が可能だ。

また熱処理加工でも「技術のオリエンタル」として高く評価されている。金型用の表面改質処理技術「ブラックパールナイト」は離形性が高く、処理コストを抑えられる。高性能が認められ、トヨタ自動車と共同でアルミダイカスト金型用に改良し、納入を始めている。

窒化センサー付きガス軟窒化炉「ユニナイトコントロールシステム」

ジャパンメディアシステム

ウェブ会議 スマホに対応

ジャパンメディアシステムは、ウェブ会議システム「Live On(ライブオン)」を約4000社に提供している。低コストながらクリアな音質と高い操作性で、国内のウェブ会議システムにおいて高いシェアを誇る。富樫泰章社長は「海外大手製品に比べ、品質のきめ細かさで圧倒的な差をつけている。改善へのこだわりがファンを生んでいる。技術があれば世界とわたり合える」と胸を張る。

拠点数を無制限でスムーズに接続できるのが強みの一つ。リアルタイムで複雑な通信帯域を調整して対応する。スマートフォンとタブレット端末でも使える。シンプルな仕組みのまま、パソコン画面共有などの機能を追加。「通信に支障が出ないよう、容量を重くせずに機能拡充するノウハウがカギ」と力説する。月額料のみでバージョンアップし、顧客は常に最新版を使える。全システムを自社開発し、利益率の高い経営体質を築いた。オフィスだけでなく、eラーニングや医療・介護の需要も取り込む。

クリアな音質と高い操作性のウェブ会議システムを低コストで提供している

フクダ

リークテスタ 製造・開発

フクダは、創立50周年を迎える流体計測器メーカーだ。リークテスタの製造・開発・販売を手がけており、自動車産業や電気・電子産業を中心に幅広い納入実績を誇る。長年培ってきた技術を生かし、より微少なリーク量を計測できるガス方式（水素、ヘリウム）と従来の圧力降下方式を合わせて広範囲（10^{-3}−10^{-5}パスカル・m^3／秒）なリーク計測を可能にする複合計測技術の開発に挑戦している。

最新技術として「インライン水素リークテストシステム」と「高感度ヘリウムリークテストシステム（カプセル蓄積法）」を開発。「インライン水素リークテストシステム」は、低コストトレーサガス（水素5%＋窒素95%）を利用し、ヘリウム並の微小な漏れ試験が可能で最大4CHまで増設出来る量産向け装置である。

また「高感度ヘリウムリークテストシステム」は、4×10^{-15}パスカル・m^3／秒の検出を実現。水晶デバイス、MEMSデバイスなど小型電子部品向け装置として製品化を進めている。

低コストトレーサガス（水素5%＋窒素95%）を利用し、ヘリウム並の微小な漏れ試験が可能で最大4chまで増設出来る量産向け装置

社・会・報・恩
高度化するセキュリティ&管理業務
全国警備保障は意欲的に挑戦していきます。
全国警備保障株式会社
ZENKOKU CURITY GUARD CO., LTD.
〒171-0014　東京都豊島区池袋2-37-4 ゼンケイビル
0120-418-151　☎ 03-3980-8151　FAX 03-3987-4420
http://www.zenkei.co.jp

株式会社工芸社は、商空間及び展示会の企画、設計施工、運営演出を扱う会社です。
DISPLAY & INTERIOR KOGEISHA
株式会社工芸社 DISPLAY & INTERIOR
http://www.kogeisha.co.jp
本社　〒113-0033 東京都文京区本郷6-17-5 TEL:03-5684-7333(代) FAX:03-5684-7335
大阪営業所　〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-21八千代ビル東館 4F TEL:06-6353-5666(代) FAX:06-6353-5628

フレキシブル基板対応（R2R）
高真空ゲートバルブ（FFTシリーズ）
第10回 2013年 超モノづくり部品大賞【奨励賞】受賞
■有機 EL 照明、CIS 太陽電池、各種 ITO 成膜に豊富な納入実績
・到達圧力（10^{-5}Pa 台）、He リーク量（2.13 × 10^{-6}Pa・m^3/s 以下）
※ 0.1t × w240 PET Film 挿入時
・特殊 O-ring による Film 張り付き力を低減し、高気密、低粘着を実現
特許申請中
FFT Valve A-Type（開口：10 × 400）
FFT Valve B-Type（開口：50 × 1500）
IRIE KOKEN CO.,LTD 入江工研株式会社
〒100-0005　東京都千代田区丸の内 3-1-1 国際ビル 813
TEL 03-3211-7111　FAX 03-3211-7110
http://www.ikc.co.jp/　E-mail:sales@ikc.co.jp

硬い素材を
切断・研磨・
穴あけ・薄膜
加工する会社です。
半導体プロセスでは大きすぎる、機械加工では小さすぎる
ダイヤモンドや超硬合金のように硬い素材において、ミクロンサイズの微細加工は特に難しい領域です。そのような寸法の加工品を下記会場にて展示致します。是非、実物をご覧下さい。
素材　ダイヤモンド　超硬合金
切断　オイルワイヤー　微細放電加工　レーザー
研磨　鏡面仕上げ
薄膜　ラップ　研削
製品　耐摩耗治具　切削工具　ピン金型　ダイ金型　微細穴
テクニカルショウ ヨコハマ2014 に出展致します。
横浜市ブース g-19　パシフィコ横浜C・D　2014年 2月5日(水)〜7日(金)
株式会社シンテック
http://www.syntek.co.jp
〒230-0046　神奈川県横浜市鶴見区小野町 75-1
リーディングベンチャープラザ 2号館 403 号室
TEL 045-500-6603　FAX 045-501-6605